

1. 化学物質等及び会社情報

製品 住宅用防水水剤

会社名 : ニッペホームプロダクツ株式会社
住所 : 東京都品川区南品川4-1-15
担当部門 : 商品統括部 マーケティンググループ
TEL : 03-3740-1095 FAX : 03-3740-1247
製品の種類 : 塗料／接着剤
推進用途 : 塗料及び塗料関連用途
使用上の制限 : 推進用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと
作成・改訂 : 2025/11/14

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体	区分3	
急性毒性経口	分類できない	(100%の未知成分あり)
急性毒性経皮	分類できない	(100%の未知成分あり)
急性毒性吸入(気体)	分類できない	(100%の未知成分あり)
急性毒性吸入(蒸気)	分類できない	(100%の未知成分あり)
急性毒性吸入(粉塵・ミスト)	分類できない	(100%の未知成分あり)
皮膚腐食性／刺激性	分類できない	
目に対する重篤な損傷性／目刺激性	分類できない	
呼吸器感作性	分類できない	
皮膚感作性	分類できない	
生殖細胞変異原性	分類できない	
発がん性	分類できない	
生殖毒性	分類できない	
授乳に対する、または授乳を介した影響	区分に該当しない	
特定標的臓器(単回暴露)	区分に該当しない	
特定標的臓器(反復暴露)	区分に該当しない	
誤えん有害性	分類できない	
水性環境有害性短期(急性)	区分に該当しない	(100%の未知成分あり)
水性環境有害性長期(慢性)	区分に該当しない	(100%の未知成分あり)
オゾン層への有害性	分類できない	

GHSラベル要素



注意喚起語

有害情報

引火性液体及び蒸気

警告

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと

容器を接地しアースをとること

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること

火花を発生させない工具を使用すること

静電気放電に対する措置を講ずること

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面等の個人用保護具を着用すること

应急处置

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。

火災の場合：消火するために炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用すること

貯藏/保管

換気の良い場所で保管すること 涼しいところに置くこと

廃棄上の注意

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って製造者/供給者/または所管官庁が指定する内容物、容器またはその両者に適用する廃棄物要件に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

成分及び含有量（危険有害物質を対象）

混合物

[illegible]

※ PRTR情報‘県’は埼玉県生活環境保全条例で定めている化学物質

※ PRTR情報「特1」は特定第1種指定化学物質に該当

4. 応急措置

吸入した場合

- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。
- ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受けること。
- ・症状が改善されない場合は、医師に連絡すること
- ・呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布で素早く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーなどは使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
- ・気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- ・直ちに、すべての汚染された衣類を取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと、直ちに医師に連絡すること

眼に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- ・直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外には無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護

- ・適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。
- ・換気を行う。

5. 火災時の措置

使用可能

水 [] ・炭酸ガス [○] ・泡 [○] ・粉末 [○]

消火剤

乾燥砂 [○] ・霧状強化液 [○]

消火方法

- ・適切な保護具（耐熱性着衣）などを着用する。
- ・安全に対処できるのであれば可燃性の物を周囲から素早く取り除く。
- ・指定の消火剤を使用する。
- ・高温にさらされた密閉容器は水をかけて冷却する。
- ・消火活動は風上から行う。
- ・棒状の水を消火に用いてはならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・作業の際には適切な保護具（保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ・屋内では換気をしっかり行う。
- ・屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。
- ・周辺を立入禁止にして、関係者以外を近づけないようにして、二次災害を防止する。
- ・付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項

- ・河川への流出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

- ・漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関連法令に基づいて処置すること。
- ・乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸着させて回収する。大量の漏出には盛土で囲って流出を防止する。
- ・衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱

- ・換気のよい場所で取り扱う。
- ・容器はその都度密閉する。
- ・作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。
- ・皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
- ・取扱後は、手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。
- ・密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業をすること。
- ・使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄まで水に漬けておくこと。
- ・周囲で、火気、スパーク、高温物等の使用を禁止する。
- ・工具は火花防止型を使用する。
- ・静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型（安全増）を使用する。

保管

- ・日光の直射をさける。
- ・通風のよいところに保管する。
- ・盗難防止のために施錠保管する。
- ・子供の手の届かないところに保管する。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策
- ・取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
 - ・屋内塗装作業の場合には、自動塗装機を使用するなど作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
 - ・タンク内部などの密閉場所などで作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気出来る装置を取り付けること。
 - ・装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。
 - ・腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露したりしないような配慮をすること。
 - ・取扱設備は防爆型を使用する。
 - ・液体の輸送、くみ取り、攪拌などの装置についてはアースをとるように設備する。
 - ・排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- 呼吸系の保護具
- ・密閉された場所では送気マスクを着用する。
 - ・有機ガス用防毒マスクを着用する事。
- 手の保護具
- ・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない手袋を着用する。
- 目の保護具
- ・取扱には保護メガネを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護
- ・取り扱う場合には、皮膚を直接曝さない様な衣類を付けること。又、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
- その他
- ・静電塗装作業を行う場合には、帯電防止服、静電靴を着用すること。

管理濃度および許容濃度		
物質名	管理濃度	許容濃度 (ACGIH TLV)

該当物質なし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

状態 : [液体] 色 : [透明] 臭気 : [溶剤臭有り]
沸点 : [~ °C] 蒸気圧 : [Pa (°C)]
密度 (比重) : [0.800 / 23°C] 相対ガス密度「情報なし」 pH値 : [該当せず]
可燃性「情報なし」 分解温度「情報なし」 動粘性率「情報なし」 溶解度「情報なし」 n-オクタノール/水分分配係数「情報なし」

危険性情報

引火点 : [40.00 °C] 発火点 : [情報なし °C]
爆発限界 (下限) : [情報なし % (上限) : [情報なし %]

10. 安定性及び反応性

接触により危険のある物質

酸化剤

燃焼などによる有毒ガスの発生

CO等の有害ガスが発生する恐れがある。

その他反応性情報

通常の条件では安定である。

1 1. 有害性情報

[illegible]

物質名	皮膚感作性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性
特定標的臓器毒性(単回暴露)				
特定標的臓器(反復暴露)				

1 1. 有害性情報

1 2. 環境影響情報

[illegible]

水性環境有害性以外の生態毒性：情報なし

残留性・分解性 : 情報なし

生体蓄積性 : 情報なし

土壌中の移動性 : 情報なし

他の有害影響

漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱に注意する。特に、製品や洗浄水が地面川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1 3. 廃棄上の注意

- ・廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- ・廃塗料、廃溶剤、容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・空容器・包装等はリサイクルを推奨すること。
- ・ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。
- ・特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・廃棄物等を焼却処理する場合には、有害ガスを発生するため適切な除去装置の有る焼却炉を使用すること。塗料製品、廃塗料及び焼却灰などは、特別管理産業廃棄物に該当する

1 4. 輸送上の注意

共通		・取扱及び保管上の注意の項の記載に従うこと ・容器漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること
国内規制	国連番号	1263
	指針番号	128
	陸上輸送	・消防法、労働安全法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。 ・荷送り人は運送業者に運搬注意書（イエロカード等）を交付する。
国際規制	海上輸送	・船舶安全法に定めるところに従うこと。
	航空輸送	・航空法の定めるところに従うこと。
	国連輸送名	塗料(Paint)
	国連分類	クラス 3
	容器等級	III
		その他 ADR/ADNR/IMDG/IATAの各輸送規制に従う事

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	危険物	： 引火性のもの
	有機則	： 該当せず
	特化則	： 該当せず

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法、PRTR法）

毒物及び劇物取締法 該当せず

消防法 第4類 第2石油類
危険等級Ⅱ
非水溶性

航空法

船舶安全法 引火性液体類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：特別管理産業廃棄物

1 6. その他情報

主な引用文献

- ・ 社団法人日本塗料工業会 「GHS対応 SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物用（塗料）〕改訂第4版」
- ・ 社団法人 日本化学工業協会 「緊急時応急処置指針」
- ・ 原料メーカーより入手したSDS(MSDS)および各種技術資料

その他

- ・ この「安全データシート」は、本製品を適切にご使用頂くために必要で注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ・ 本製品の使用方法については、「安全データシート」をご参照の上、使用者の責任においてお決め下さい。
- ・ ここに記載された内容は当社所有の情報によるものですが、情報の完全さを保証するものではありません。また「安全データシート」の内容は、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。
- ・ 記載内容のうち、成分及び含有量、物理化学的性質等の値は、品質保証値ではありません。
- ・ 本「安全データシート」に記載されている内容は情報提供であって、いかなる保証をするものではありません。

危険有害性の情報は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分に注意して下さい。

A241